

ナイロビ西部環状道路建設計画（無償事業）

（１）事業背景

ケニア最大の都市であるナイロビ市の道路インフラは、市内の交通はもとより、モンバサ港を基点とする北部回廊の要衝としての機能を担っているが、人口の急増と車両数増加により交通渋滞が深刻化し、車両運行に影響を及ぼすとともに、維持管理費、交通事故、環境負荷の増加を招いている。その結果、地域住民は高い交通費の負担を強いられ、特に、多くの低所得者は公共交通を利用できない現状となっている他、地域住民の交通安全も問題となっている。

同市の人口は、2025年には現在の300万人から430万人へ増加すると推測され、交通渋滞の更なる悪化による経済発展への影響が懸念されており、その改善が急務とされている。

かかる状況の下、我が国は2006年、ナイロビ都市圏の交通網改善を目的とした開発調査「ナイロビ都市交通網整備計画調査」を実施し、首都圏交通網の分析及び交通整備のマスタープランを策定を行い、特に早期に改善が必要な緊急プロジェクトのプレ・フィージビリティ調査（予備F/S）を実施した。

本件は、予備F/Sにて実施必要性を検討したミッシングリンク3路線の整備を行い、市内道路のネットワーク化を促進することで渋滞緩和を図り、市民交通や物流の利便性に貢献するものである。

（２）事業目的

- ①地域のアクセス性の改善（ナイロビ市西部の河川(Nairobi River, Kirichwa Kubwa River)で分断された地域および市内西部地域と市中心部・市内東部地域）
- ②歩行者(NMT: Non-Motorized Transport)の移動時間短縮および交通事故の減少（歩道整備によるナイロビ市内西部地域と市中心部間を結ぶ地区）

（３）事業概要

- | | | |
|-------|-----|-------------------------------|
| ①協力期間 | D/D | 2010年3月～2010年9月 |
| | 本体 | 2011年6月～2012年9月（2013年11月まで延長） |
| ②供与金額 | D/D | 0.35億円（2010.2） |
| | 本体 | 25.07億円（2010.9） |

③協力内容

以下、3路線（総延長8.36km）の整備（既存舗装道路の拡幅、未舗装部分の舗装化、一部区間における新道の建設、交差点改良、歩道小規模橋梁が含まれる。）

Missing Link No.3:Kileleshwa Police Station～Westlands Roundabout(1.76km)

Missing Link No.6:Oloitokitok Road～Kileleshwa Police Station(2.85km)

Missing Link No.7:James Gichuru Road～Ngong Road(3.75km)

④事業実施機関

ケニア都市道路公社（Kenya Urban Road Authority: KURA）

⑤受注業者

工事施工：NIPPO

施工監理：片平エンジニアリング・インターナショナル

